

2022年度(令和4年度)の日事連の取り組み 報告(成果の評価)

- 日本建築士事務所協会連合会/BIMと情報環境WG
- 2022.12.9 建築BIM推進会議第9回



1. 日事連のBIM普及・教育に対する姿勢

- 第1回BIM推進会議で提示した5策

策1: BIM活用の裾野を広げる(◎)

策2: 建築士事務所の活用能力を高め、積極活用を支援(◎)

策3: BIMの社会的基盤をつくる(＊)

策4: ベンチマークとなるプロジェクトをつくる(＊)

策5: 未達成の社会課題に取り組み、未来社会を先取りする

→ ＊は、国土交通省建築BIM推進会議にて取り組み、あるいは連携。

→ ◎は、現在のBIMの普及状況、日事連会員事務所の約8割が30人以下の事務所である現状に即し、中小事務所に資する普及に関する活動に注力。

2. 活動内容

【今年度実施】

- BIM活用アイデアコンペティションの開催
- 会誌連載記事にて、BIMの導入経緯や活用事例等の情報を提供
- BIMに関する基礎情報・利用情報などを一元化するBIMポータルサイト「BIM GATE」の運用開始

【普及活動】

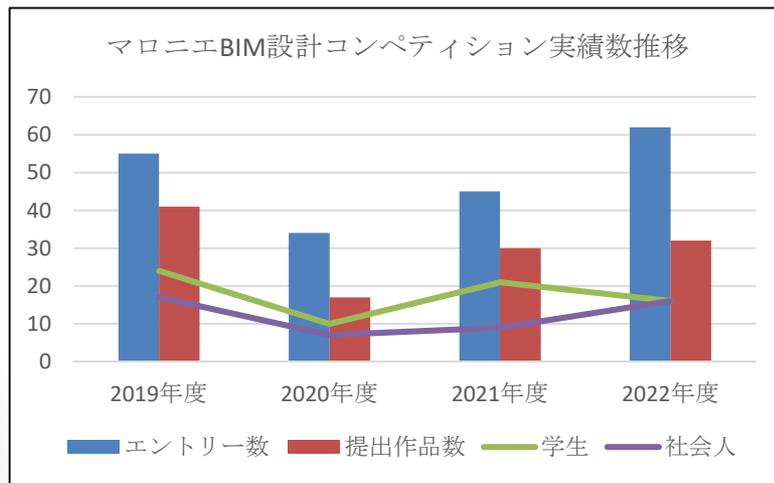
- BIMを導入していない建築士事務所の開設者・管理建築士等に向けて、全国各地でBIMセミナーを実施

3. 活動報告:

BIM活用アイデアコンペティションの開催

BIM利用による設計コンペを主催し、建築士・学生に対し、BIM活用への意欲の喚起、BIM活用能力の向上・積極活用のきっかけとすることを目的に、2014年より開催。

2019年度より、学生だけでなく社会人にも対象を拡大し、毎年開催している。



	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
エントリー数	55	34	45	61
提出作品	41	17	30	32
学生	24	10	21	16
社会人	17	7	9	16

3. 活動報告: マロニエBIM設計コンペティション2022 in みやぎ



オンライン併用の審査風景：発表者(左手)と審査員団(着席)



藤本壮介氏(審査委員長)による基調講演



最優秀賞(国土交通大臣賞)受賞作品 ふいに「みる」



国土交通大臣賞を受賞した海本氏・梅本氏
(安井建築設計事務所大阪)

3. 活動報告:会誌「日事連」での連載

BIMの普及促進を目的として、最新情報の紹介、基礎知識の提供など、幅広い視点からBIMやAIをめぐる記事を掲載。

2021年5月からは「実践編」として、各地の中小事務所を中心に、BIMの導入経緯や活用事例、BIMを活用した今後の事業展開などの記事を掲載。

2カ月に1度の連載で、現在までに通算21回掲載。

これまではBIM導入の促進を軸に連載していたが、今後はBIMデータの活用やBIMネットワークの活用などデジタル連携まで幅を広げて連載を継続していく。



3. 活動報告:

BIMポータルサイト「BIM GATE」運用開始

BIMの初心者からBIMを活用した業務を展開したい設計技術者、BIMを活用している建築士事務所を探している建築主やインターンシップ先を探している学生など、BIMに関わる幅広い方々を対象としたBIM情報ポータルサイトを制作し、運用を開始した。



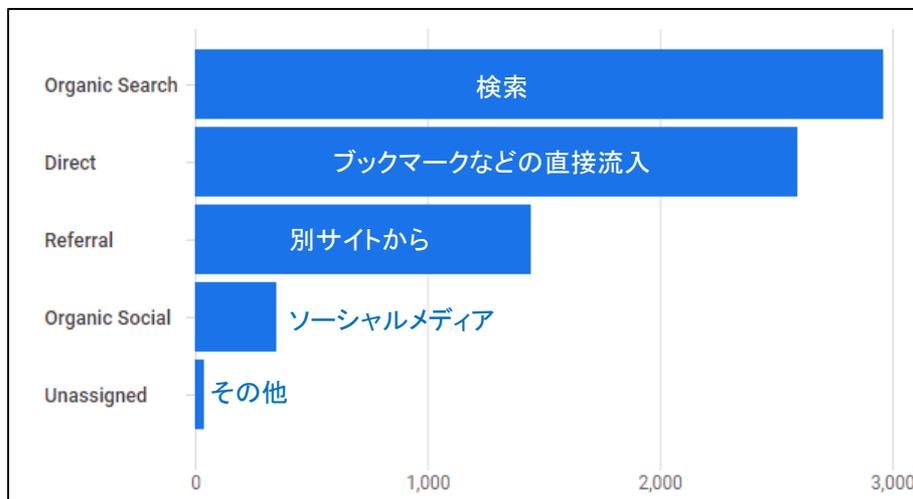
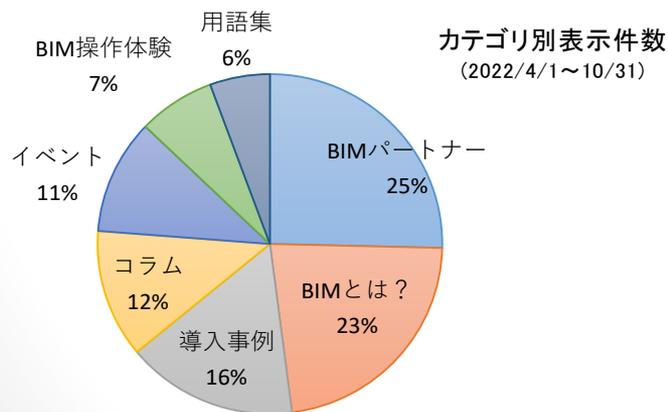
3. 活動報告:

BIMポータルサイト「BIM GATE」 運用開始

<公開後の運用状況>

- ・BIMパートナー掲載希望事務所を随時更新
- ・会誌「日事連」で連載中のBIM活用事例記事のアーカイブを公開(会誌掲載後一定期間経過したもの)
- ・BIMの普及・促進に繋がると思われる情報をコラム記事として情報提供
- ・BIMコンペやセミナーなどのイベント情報も随時更新

サイトへの流入経路(2022/4/1~10/31)



「BIM GATE」アクセス状況(2022/4/1~2022/10/31): 7,125アクセス